

病児室だより

R6年2月第6号



こんなときに…

お仕事が休めない!

ゴホゴホ

ご相談
ください

自宅で見てる人がいない!

<<子供の冬の過ごし方>>

身体を温めて血流改善! 血行を良くして冷えを防ごう!!

♪ 室内での注意点

冬場の室温の目安は22~23℃子どもは体温調節が未熟な為、着せすぎはNG! 急激に体温が上昇することがあります。室温調整と加湿を行い、薄着で生活するようにしましょう!



衣服の調整 着せすぎはあせもや、脱水の原因に… 薄い服を複数重ねると、間に空気の層ができ暖かく

調整しやすいです。人も足裏で体温調節します室内では靴下を履かない方が良いでしょう。外出時の注意点、子どもは活動が活発! 思ったより汗をかいていることが多いです。遊んでいる時に、時折背中に手を入れ確かめましょう。水分補給をしっかり行い喉を潤しましょう。

♪ 外出前のポイント

外出前に露出部分に薄くワセリンを塗ることで、冷たい外気をはじき乾燥を防いでくれる効果があります。



特定非営利活動法人オープンハウスこんぺいとう病児室

TEL 0233-29-2301

(お問合せ 平日 8:30~17:30)



<<山形県内感染症の報告数が増えています>>

(山形県衛生研究所から)

・インフルエンザ

突然の高熱とともに、関節痛、筋肉痛などの全身症状が現れ、のどの痛み、鼻汁、咳などの症状も見られます。普通の風邪と比べて全身症状が強いのが特徴です。安静と室内の湿度や温度、水分補給に留意しましょう。

・A群溶結性レンサ球菌咽頭炎(上気道感染症)

2~5日程度の潜伏期の後、突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、嘔吐や莓状の舌などの症状が現れます。通常熱は3~5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。抗菌薬による治療を行います。喉の痛みがひどい場合にはやわらかく薄味の食事にし、水分補給を心がけましょう。

・感染の多くは、「飛沫感染」によると考えられますが、ドアノブなどの環境表面についた様々な菌への接触により、鼻や口などの粘膜や傷口などを通して感染する「接触感染」も成立します。

